臺灣日日新報　第一万五千五百六十九號　昭和十八年七月七日（水曜日）　（一）

敵遺棄死體四十五萬

一年間 支那方面綜合戰果

【東京發至急電】七月六日十五時）昨年七月以降一箇年間における支那方面我軍の綜合戰果次の如し

一、敵に與へたる損害　遺棄死體約四五七、八〇〇、俘虜約一四九、〇〇〇、鹵獲約九六、〇〇〇、飛行機二七〇機、主なる鹵獲品　各種火砲一、一二門、同彈藥約八六、九〇〇發、重機關銃約四、一五〇挺、同彈藥一、四七四、〇〇〇發、小銃約一五八、五〇〇挺、同彈藥約一一、六五四、〇〇〇發、船舶約一六、〇〇〇噸

二、我方の損害　戰死八、二八一名、飛行機四四機

重慶抗戰力低下著し

作戰の意義と輝く主要戰果

【東京發至急電】支那事變勃發以來六周年、敵は英米と結託して益々抗戰を強化しつゝあるが、我が作戰の意義と輝く主要戰果を擧げれば

一、漢口攻略作戰（昭和十三年七月中旬より同年十月下旬まで）

二、第二次南昌作戰（昭和十三年十二月上旬より同十四年二月中旬まで）

三、第二次長沙作戰（昭和十四年九月中旬より同月下旬まで）

四、南部大行作戰（昭和十四年十月下旬より同十五年二月中旬まで）

五、第二次晉中作戰（昭和十五年五月上旬より同月中旬まで）

六、東洋湖西北地區殲滅作戰（昭和十七年七月下旬より同年八月中旬まで）

七、秋季掃蕩作戰（昭和十七年十月下旬より同十八年一月下旬まで）

八、鄂北作戰（昭和十八年一月中旬より同年二月中旬まで）

九、江北殲滅作戰（昭和十八年二月初旬より同年三月末まで）

十、十八春大行作戰（昭和十八年五月下旬より同年六月中旬まで）

十一、江南進攻作戰

事變處理の大道拓け

大戰前途希望の炬火

けふ支那事變六周年

【東京發】日本軍の支那奥地進攻作戰は、實に支那事變の處理に大道を拓くものであり、從つて支那事變の處理は、日本軍の支那奥地進攻作戰の進展如何に懸つてゐるといふことは、既に屢々述べたところである。

即ち、この點が、支那事變の處理に關する最大の問題であり、從つて日本の支那事變處理の基本的方針は、この點に向つて集中されてゐるのである。

米英を驅逐、東亞建設

張滿國總理決意披瀝

【新京六日發同盟】滿洲國の張總理は、滿洲國建國第六周年に當り、左の如く談話を發表した。

滿洲國は日本の國運興隆と共に、日本の支那事變處理に對する絶大の協力により、建國僅か六年にして、既に國基を確立し、國力を充實するに至つた。

反逆分子を徹底打倒

汪國府主席の感想文

【南京六日發同盟】國民政府主席汪精衛氏は七日の支那事變第六周年紀念日を迎へるに當り、左の如き感想文を發表した

日本の協力に感銘

ディレック泰大使披瀝

馬駿將軍も和平陣へ

中國の癌劇滅に挺身

國府傘下へ投降

將兵實に廿一名

唯物思想が戰爭へ

柳川中將 事變の眞因說く

事變の大道拓け

大戰前途希望の炬火

けふ支那事變六周年

事變處理の大道拓け

大戰前途希望の炬火

けふ支那事變六周年

事變の爲東亞黎明

バルガス長官は語る

森部總務局長

森田知事出席

地方長官會議に

府評議會員

一部改選

相撲と野球

七月一日號

日本野球 半額券 二枚

眞珠灣

幼年倶樂部

少年倶樂部

少女倶樂部

コドモエバナシ

タイ・佛印マライのお話

木下・下谷著

蘭印のお話

姉妹篇

馬來の話

主婦之友社刊

(二)　昭和十八年七月七日（水曜日）　臺灣日日新報　第一万五千五百六十九號　（第三種郵便物認可）

社說

東條首相の泰國訪問

東條首相は、南洋問題、比島を巡訪し、未だ歸國の大東亞戰爭下における南洋諸國の地理を視察したが、我が國民は首相の南洋諸國の地理を視察したが、我が國民は首相の南洋諸國の地理を視察したが、我が國民は首相の

はゝ支那事變記念日

彌固、めん仇敵撃砕の決意

もう七ツ、興亞の事變つ子

ボクは飛行士 乾孝保ちゃんの望み

正直で賢い子 保雄さんが劉宜清ちゃんほめる

演習のすんだその夜 富田勇士 當時を語る

九段の對面、自立奉告 教壇に立つ軍國の未亡人

早曉散歩電撃視察 お米はどうか 邦人に思遣り

「昭南滯在の東條さん」 武威山から戰跡視察 病床に傷病勇士を慰問

適格者洩なく志願 臺北州 山の青年海軍へ赤心披瀝

島都も一萬名突破

願ひは「再起奉公」 七夕飾に大喜ひの白衣勇士

泰國民の喜びを想ふ 村田北 島軍政顧問團岡で語る

戰技訓練も時局即應 不要金屬製器具は献納

全島水泳錬成大會 廿一日から臺中市に開催

新商業道の確立 中堅ㇾ商人を選拔錬成

持場に敢闘、勝抜け 高橋大將嘉義で講演

日本映畫通信

重慶側の暗躍

大東亞共榮圏の確立へ

第十七回決算

今日の映畫

新日本建設叢書 宗教日本

講習生募集

國寶健康

怒濤と寄す熱血青年
熾烈・各地の海軍志願

五日間で五萬突破
臺中州の志願熱高潮

【臺中電話】五日間に亘る陸軍特別志願兵と海軍志願兵の臺中州下の志願者は陸軍志願兵は一路の二倍を突破し海軍志願兵は一路の二倍を突破し五日間の志願者は一萬二千三百五十九名で昨年の五萬四千三百二十九名に比べ約半分に減じたが之は昨年の志願者は殆んど全部が本島人であつたのに反し今年は内地人の志願者が多いためである

【臺中電話】五日間に亘る陸軍特別志願兵と海軍志願兵の臺中州下の志願者は陸軍志願兵は一路の二倍を突破し五日間の志願者は一萬二千三百五十九名で昨年の五萬四千三百二十九名に比べ約半分に減じたが之は昨年の志願者は殆んど全部が本島人であつたのに反し今年は内地人の志願者が多いためである

硬貨回收いよいよ熾烈
臺南市の成績最も良し

【臺南電話】臺南市に於ける硬貨回收は市當局の熱意と市民の協力とに依り日に月に成績を擧げつゝあるが五日までの回收高は一萬九千九百八十五圓に達し

羅東郡で記錄映畫上映

【羅東電話】羅東郡に於ける戰時國民生活の實態を記錄映畫に收めて一般に公開することゝなつたので郡では五日羅東劇場で第一回上映會を開催した

嘉義市郡で記錄
つゞり百日の記錄者數二千二百八十五名、登錄數の記錄者數二千二百八十五名、登錄數の記錄者數二千二百八十五名、登錄數

夕刊 臺灣新民 (第二版) (明治四十一年九月九日第三種郵便物認可) 昭和十八年七月七日 (水曜日) 臺灣日日新報 第一万五千五百六十九號 (一)

レンドバ連續攻撃
輸送船五隻を擊沈
敵機廿三機以上を擊墜
敵機擊墜百十八以上
レンドバ島綜合戰果

【東京發至急報】大本營發表（七月六日十時三十分）帝國陸海軍航空部隊は七月四日レンドバ港及び敵飛場を攻撃せり、戰果次の如し
一、敵に與へたる損害　輸送船五隻及び舟艇十數隻擊沈、集積所を爆破炎上、飛行機二十三機以上擊墜
二、わが方の損害　自爆九機

【東京發至急報】四日レンドバ港に於ける我が航空部隊の攻撃により撃沈されたる敵輸送船の隻數は撃沈六隻に及べる大本營發表にようて明らかである

【東京發至急報】大本營發表（七月六日十時三十分）帝國陸海軍航空部隊は七月四日レンドバ港及び敵飛場を攻撃せり、戰果次の如し
一、敵に與へたる損害　輸送船五隻及び舟艇十數隻擊沈、集積所を爆破炎上、飛行機二十三機以上擊墜
二、わが方の損害　自爆九機

【ストックホルム五日發同盟】ポーランド國民會議の機關紙ポーランド・ニュース紙は「ポーランドとロシアとの關係は、ロシアがポーランドの國境を侵犯し、ポーランド人を虐殺した時から斷絶した」と述べ、ポーランドとロシアとの關係は、ロシアがポーランドの國境を侵犯し、ポーランド人を虐殺した時から斷絶したと

海へ青年の熱意凝り
既に廿四萬を超ゆ
志願受付五日間の累計

陸海軍志願兵の受付は五日までの五日間に陸軍二千三百七十五名、海軍二千百七十八名、合計四千五百五十三名であつた、昨年度は陸軍二千三百七十八名、海軍千四百七十名、合計三千八百四十八名であつた

三萬三千餘名
美談、內地から手紙志願

【既報第二面】既報第一次の陸軍志願兵受付は五日までの五日間に三萬三千二百七十五名であつたが、昨年度は陸軍二千三百七十八名であつた、既報第二次の海軍志願兵受付は五日までの五日間に陸軍二千百七十八名であつたが、昨年度は陸軍千四百七十名であつた、既報第一次の陸軍志願兵受付は五日までの五日間に陸軍二千三